



## 争議支援・団結びあばーていー開催

9月6日(土)土建目黒会館、昨年を上回る参加者で！

毎年開催している「団結ビアパーティー」を、今年は原点に戻って、不当解雇などで闘う争議団を招き、参加者と共に、輪投げ・ビンゴなどゲームと、南部合唱団の歌声などで交流を深めました。土建目黒支部にては会場だけでなく、ゲームの用意など大変お世話になりました。参加者 27 人+南部合唱団。(労協/事務局)

### 労協議長あいさつ・乾杯

到着すると受付でビンゴカード配布。そしてまず大会。多数の景品から選んでまず GET！その後、労用議長の音頭で「乾杯！」。ビールとケータリングの大皿料理でおなかを満たします。今年はこの後、参加した争議団から、争議の報告と支援の要請が行われました。



### 東京争議団共闘会議

現在の目黒労協議長も、かつての争議の際(目黒電波測器・倒産解雇)に役員を経験。今回は、元 JAL 客上争議団で、現東京争議団事務局の方に報告いただきました。

### 明治乳業争議団

40年を超える闘い、最高裁まで争って敗訴した、賃金などの職場差別裁判です。会社は第2組合を作り、幹部を反共教育で有名な「富士政治学校」に送り、職場から組合敵視・パージ・パワハラを繰り返し、賃金・昇格差別などを続けてきました。現在、東京都労働委員会で「最後の闘い」が繰り返されています。



### 全国税原口さんを～職場に戻そう～

原口さんは国税庁の公務員。不当解雇に対し人事院へ申立て行いました。国家公務員賃金の「人事院勧告」で有名な人事院は、本来「仲裁機関」。公務員の争議権・交渉権のはく奪、制限に対応する、民間労働者の労働委員会にあたるのですが、原口さんの申し立を却下。残された手段は民事裁判提訴、原口さんはこの困難な道を進もうと決意されています。

### 古川橋病院・岩淵さん～「解雇・雇止め」撤回を～

港区南麻布にある古川橋病院で看護部長だった岩淵さんは、1年契約の有期雇用を5年間続けてきましたが、2024年3月31日「雇止め」



に。本来なら4月1日より「無期雇用」となるはずでしたが、突然にこれを無視する病院側に、コミュニティユニオンみなと支部で組合を立ち上げ闘っています。この日は岩淵さんがご都合悪く、CUみなとから代理で訴えがなされました。\*当事件のチラシは、労協HPに掲載してあります。

## グーグル: JMITU アルファベットユニオン～解雇・賞与減額と闘う～

JMITU 目黒地域支部より、JMITU アルファベットユニオンの闘いが紹介されました。2023年5月の全世界的なグーグルの人員削減攻撃。退職を促すメールに従わなかった労働者は1部屋に集められ、仕事を取り上げ、賞与を削減。6人は組合を結成して、隔離部屋を1年で辞めさせ、現在は組合員も5倍以上増やし、都労委=団交拒否など、裁判=賞与減額・解雇などを闘っています。

### 参加組合報告

その後は、参加労組からそれぞれ報告。東工大職組、めぐろユニオン、JMITU 目黒地域支部、東京土建目黒支部、大東通信機労組、目黒区職労、理化電機、国民救援会目黒支部、郵政産業ユニオンなど、それぞれ近況・課題など報告し交流会に参加。

### 最後は南部合唱団と歌声

最後はいつもの「団結ガンバロー」の合唱♪で。  
\*発言・写真など目黒労協HPに収録しています。



# 続けています 争議支援への参加

団結ビアパーティに参加いただいたところ、その他も。争議支援行動を続けています。

## 京橋エドグラン、明乳争議「座り込み」

京橋エドグラン、明乳争議の座込みを約30名で。市川提訴団から元組合員が、戸田町工場からも元組合員(病床からの手紙代読)などのみなさんが、次々と立って訴え。午後5時まで1時間の、第105回座り込みを貫徹。最後はシュプレヒコールで終えました。

その他、「金属反合共同行動」「CUみなと岩淵さん裁判傍聴」などに参加しています。ぜひ他の労組や組合員のみなさんも。(めぐろユニオン/通信員)



# 目黒社保協宣伝行動 最低賃金1226円 & 小中学校の学用品無償化を



9月22日(月)、目黒社保協の宣伝行動。今回は、「10月から最低賃金1226円」宣伝と、「目黒区の小中学校の学用品無償化を求める陳情」署名を、と訴えました。学用品無償化陳情は、目黒区議会に提出されています。

東京都最低賃金が10月より1226円に、新宣伝ボードも登場。「最低賃金上げよう!」の宣伝、労協では毎月実施を予定。(目黒労協/事務局)

# 区内の労組を訪問しています

目黒労協執行委員会では、加盟労組および未加盟労組との情報交換の機会を増やし、さらに一致する課題に共同して取り組むことを目的に、職場訪問活動に取り組んでいます。(編集部)

## 福祉保育労愛隣会介会

8月21日(木)の昼休み、執行委員3人で駒場にある、愛隣会分会を訪問しました。対応していただいたのは、児童養護施設で働く委員長です。組合の現状や活動状況などの質問には、「組合員は現在20数名で、指導擁護施設が多い」「定期的ではないが、職場集会など行っている。役員体制の確立をめざし、秋頃に定期大会をやりたい、組合員交流会も兼ねて」「若年層の底上げのため賃金規定を改訂したが、中高年層は頭打ちに(\*生涯年収は変わらない)」との説明。また、新しく取り入れられた「労働者代表」制度では、法人が組合と協定を結ばなくなったことについて、「法人に都度、説明させること」「協議の機会を持つこと」「職場の意見を申し入れること」などが大事ではと意見がありました。



「愛隣会」敷地を正面から

労協から、「団結ビアパーティー」や「屋形船レク」など、ぜひ参加して欲しいこと。また11月の労協大会に向け、執行委員を派遣して欲しいなど要請しました。(目黒労協/事務局次長)

# 地域労組の定期大会を訪問しています

夏から秋は労働組合の「定期大会」シーズンです。目黒区内でも、目黒労協加盟の組合では労協代表が来賓参加しています。また友好労組でも大会が行われており、可能な限り「取材」参加をお願いしています。労協が参加した大会では参加者より報告を、参加できない場合は当該労組よりの報告を、できるだけ「労協ニュース」で報告していきたいと思えます。(編集部)

## JMITU 東日本三菱自動車支部

9月16日(火)の午後、目黒に本社機能がある東日本三菱自動車販売(株)の労働組合、JMITU 東日本三菱自動車支部の第51回定期大会が、品川労協の会議室で行われ参加しました。同社にはもう一つ組合員数の多い労組があり、JMITU 支部は少数ですがいわゆる「第一組合」で、「職場の声」を聞きながら頑張っています。

現在の組合員のみなさんの勤務地は、目黒ではない都内の各地に散らばっており、日常的に顔を合わせる事が困難です。それでも月1回の執行委員会や、交流会・定期大会などの機会に集まり、



意見交換・意思統一を行っています。25春闘では定昇に加え12千円のベアを勝ち取り、再雇用者の賃金も2万円の引上げを実現させています。目下の課題は、若い組合員の獲得と、組合員同士の「交流」機会を増やすことです。少ない組合員ですので、「全員執行委員」の体制としていますが、JMITU 目黒地域支部をはじめ、JMITU をあげて全力で支援していきたいと思えます。(JMITU 目黒地域支部/大会参加者)

## 大東通信機労働組合

9月19日(金)の夕方、会社の食堂で大東通信機労働組合の第47期定期大会が行われ、目黒労協より来賓参加しました。以下、参加した感想を報告します。

参加している組合員のみなさん、若い方ばかりでびっくり。ここ最近、会社の業績が低迷しているため、一時金の支給月数および、ベア対応などが厳しい状況ですが、25春闘では「時間単位の年休取得」や「残業時間の1分単位算定」など、組合員の要望が強く社員募集にもつながると要求。継続し交渉を続けるとのこと。

日常の活動では、会社の拠点最適化(移転)対応のなか、執行委員の法律スキルアップを目指した講座の実施、組合員の勉強会・ゼミナーへの参加推進、「つくば工場」組合との連携強化(相談対応・アンケート)など、多岐にわたり取り組んでいます。引き続き目黒労協でも、中核労組としてのご活躍を期待しています。(目黒労協/事務局次長)



## 目黒自動車交通労働組合

9月23日(祝日)の午後、労協に加盟する自交総連・目黒自動車交通労働組合の、第47回定期大会が鷹番住区センターで開催されました。目黒労協より事務局次長が来賓参加し、連帯挨拶をおくりました。

毎年組合員を増やしている同労組ですが、今年の大会では昨年より4人増えて、37人の組合員現勢で迎えた大会です。経過報告で委員長は、「会社と交渉するに団結とチームワークが重要、組合員も得意な分野で力を発揮しよう。ライドシェア問題は地域での力を借りて、必ず法案成立を阻止しよう」と訴えました。会社には当該組合以外にも組合があり、また労働組合に加入していない人も多くいます。そういう現状をふまえ組合員さんよりも、「会社との交渉は単独だけでなく、グループ全体の組合や社員を巻き込む必要ある。他組合や他拠点の人たちと交流を進めて」などの意見も出され、役員提案含め全ての議案が了承されました。(目黒労協/事務局次長)



地域共闘を拡げ 目黒労協を大きくしよう！  
活動方針の討議・決定

## 目黒労協 第74回定期大会

- ◆11月15日(土) 土建目黒会館/午後 1時開会
- ◆代議員の確保をお願いします、大会の成功を！